



聖学院学術情報発信システム SERVE

構築から公開まで

Seigakuin University and Schools

SEIG

聖学院大学



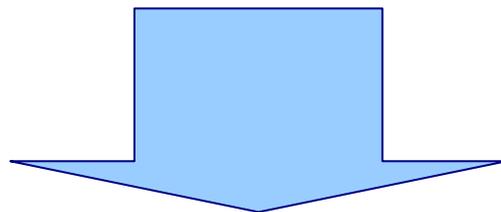
大学紹介

- ◆ 所在地 埼玉県上尾市
- ◆ 構成 政治経済学部
人文学部
人間福祉学部
大学院(3研究科)
- ◆ 学生数 約3,000人
- ◆ 創立 1988年
- ◆ 建学の精神 神を仰ぎ人に仕う

創立20年目の課題

- ◆ 創立当時の史資料
パンフレット・写真など
- ◆ これまでの大学の活動
講演会の記録、ポスター、パンフレット

きちんと保存されていなかった！

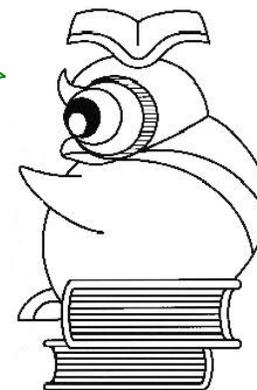


史資料の保存は図書館の仕事だったのでは？

リポジトリのイメージ

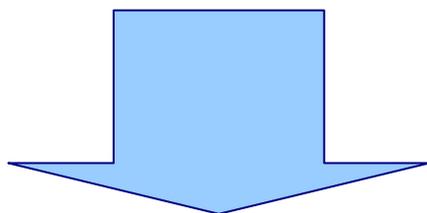
- ◆ 研究成果を収録するシステム
- ◆ お金や人手がかかる
- ◆ システムに関する知識や技術が必要

**教育活動の資料や記録、成果
なら聖学院大学にもある！**



構築のきっかけ

- ① 電子的な資料を保存していく「しくみ」がいる
- ② 情報システム課にXOOPSを利用した経験がある。
- ③ 科学研究費 間接経費の有効活用として



リポジトリができる？！

学内の協力

共同事業

システム管理 データ入力・企画・運営 広報・予算

情報システム課
(情報推進課)

図書館

総務課

コンテンツ提供

大学・大学院

研究所

出版会

CSI委託事業への道のり？！

2007年11月 構築開始

2008年3月 基本構築終了

2008年4月 申請

2008年7月 採択

!! 進めなくては・・・

CSI委託事業採択の効果

①学内的広報

学内的な宣伝効果。
学外から認められた活動として。

②学長の理解と協力

申請時に直接、意義や方向性を説明。
理解者に。

③費用

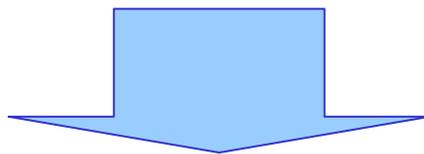
リポジトリをメイン業務とする非常勤職員
の確保。

SERVE紹介：名前の由来

建学の精神 「神を仰ぎ、人に仕う」

Love God and Serve His People

教職員のあるべき姿 Servant Leadership



本学の研究・教育の成果を提供することは
社会や人々への奉仕につながる。

SEigakuin Repository for academic archiVE

SERVE紹介：プロフィール

◆システム XooNlps Ver. 3.3

- ◆特徴
- ①アイテムの種類(コンテンツ)
 - ②3つの登録領域
 - ③情報発信と情報保存

特徴① アイテム

8つのアイテム

- ①Article 紀要論文・学会論文等
- ②Book 書籍・科研費報告書・博士論文
- ③Scholar 教員情報
- ④Curriculum 授業情報
- ⑤Event 講演会・特別礼拝・学校行事
- ⑥Minutes 教授会記録(予定)
- ⑦Internal Publication 学生新聞・図書館報
- ⑧Data 統計データ

特徴② 登録領域

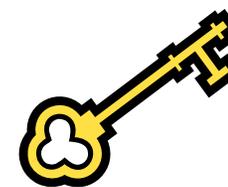
3段階の登録領域

1. 一般公開(Public)

インターネット上で公開。

2. 学内公開(SEIG)

学内者(ID取得者)のみ利用可能



3. 個人用(Private)

登録ユーザー本人のみ利用可能

XooNipsのグループ機能を利用

特徴③ 情報発信と情報保存

情報発信

聖学院の研究成果、
教育活動に関する情
報を発信する。

情報保存

聖学院に関する情報
(活動や史資料)を
電子的に保存する。

聖学院の情報ならSERVEにある！

システム

◆ XooNlps

→ 構築、カスタマイズに業者のちから

◆ 問題点

・アイテムの一括登録ツールが利用できない。

→ カスタマイズで対応

・XooNlpsのバージョンアップに不安



カスタマイズは慎重に！

サーバー構成

OS	CentOS 5.2
CPU	AMD 2.0GHz
メモリ	2.0GB
HDD	250GB × 2台 (RAID)

	WEBサーバー	DBサーバー
Apache	2.2.3	
MySQL	5.0.45	
XOOPS	2.0.16ja	
XooNIps	3.31	

運用体制

運営委員会 なし

運用方針 未定

(「機関リポジトリ設置の意義について」)

進捗チェック 月1回の打ち合わせ会

(情報システム課・図書館の担当者による)

困ったとき・・・ ・DRF

・XooNlps研究会

・埼玉大学「SUCRA」

(埼玉県大学短期大学図書館協議会)

SERVE 平成20年の活動

- ◆ 学内発行物のアンケート実施
- ◆ 広報用のパンフレット作成
- ◆ 図書委員会、教授会等での登録依頼・説明
- ◆ 情報事務連絡会での紹介、協力依頼
- ◆ 課長会での協力依頼
- ◆ 科研費取得者への個別依頼・説明
- ◆ 紀要論文の遡及、一括許諾 など。

これからのSERVE（課題）

◆ 学内体制の確立

大学院、研究所、出版会との連携

運営委員会

運用方針

◆ コンテンツ（映像コンテンツ）

◆ システム

XooNlpsのバージョンアップ

活動報告書へのデータ提供（連携）

さいごに

- ◆ 「きっかけ」を逃さずに！
- ◆ 協力者を捕まえる！
- ◆ だめでもいい。やってみる！

これからもよろしくお願いします。